

# 2020年度 第7回「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」 参加校募集



2020年、世界中が新型コロナウイルスにより大きな困難を抱え、社会や生活様式を変えていかなければならない状況に陥っています。各校におかれましても、日々の教育実践や学校運営において非常に困難な状況があることと拝察いたします。

このような中でも、自然災害はいつでもどこで発生するかわかりません。東日本大震災から9年の月日が経過した今日においても、大震災の記憶を風化させず、その教訓を活かし、今後起こりうる災害に備えるための取り組みが求められています。

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、アクサ生命保険株式会社の協力を得て、**災害時、地域の重要な防災・減災拠点となる学校の「防災・減災教育」を推進し、将来、地域の災害リーダーとなり得る児童・生徒を育てる支援事業**として、2014年から6年間、「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」を実施してきました。これまで、のべ139校、196名の先生方が参加し、減災教育を推進してきました。

本プログラムは、次の3つのプログラムから成り立っています。①「防災・減災教育」を実践する小・中・高等学校を対象に活動助成。②東日本大震災の経験や教訓を活用した取り組みを学ぶ教員研修会。③参加した学校同士が地域を越えて日本各地の様々な災害リスクに備える取り組みを学び合う活動報告会、減災教育フォーラム。これらのプログラムを通じて、学校の防災・減災教育を支援します。

新型コロナウイルス感染拡大による厳しい状況だからこそ、本プログラムが提供する新しい視点の防災・減災教育の基礎・理論や、被災地の学校の経験・教育実践を、各校の防災・減災教育に活用していただきたく存じます。そして、これから起こり得る、既知や未知の災害やあらゆる困難に立ち向かい、解決策を見出す力の基盤となる、**児童・生徒の『生きる力の育成』や『多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる資質』**を育てていただきたく存じます。

本プログラムの**教員研修会**は、これまで専門家のご指導の下、宮城県気仙沼市の被災地を実際に訪問して実施してまいりましたが、本年は参加者の皆さまの安全を第一に考え、**オンラインでの研修に変更し、講師及び気仙沼市と参加校の先生方をインターネットで結んで実施する予定です。**

## 1. 助成対象校

「防災・減災教育」に取り組む小学校、中学校、高等学校(義務教育学校、特別支援学校等を含む)

## 2. プログラム内容

- ① 防災・減災教育に取り組む学校への活動助成 1校につき助成金10万円(一律)
- ② 助成校の教員を対象にした**オンライン教員研修会**(ZOOMなどを使用)
  - ・日程:2020年9月24日(木)~25日(金)
  - ※本プログラムのオンライン研修受講のためのICT環境は各校でご準備いただきます。(助成金の一部を本プログラムのオンライン研修受講のためのICT機器の購入に充てることも可能です。)
- ③ 助成校の教員を対象にした**活動報告会・減災教育フォーラム** 【場所】東京都内(予定)
  - ・日程:2021年2月中・下旬頃(金~土曜日)【1泊2日】予定
  - ※新型コロナウイルス感染の状況により、オンラインでの実施となる場合がございます。

◎これまでの**教員研修会**および**活動報告会**の様子は、**パンフレット、ホームページ**をご覧ください。

◆問い合わせ先: 日本ユネスコ協会連盟 減災教育係 (上岡、藤田)  
電話: 03-5424-1121 (平日 10:00~15:00) Eメール: gensai@unesco.or.jp  
◆ホームページ: <http://www.unesco.or.jp/gensai/> (「ユネスコ 減災」で検索)  
※募集要項や申請書は、ホームページからもダウンロードしていただけます。

## 3. 募集期間・締め切り ※詳細は募集要項をご確認ください。

2020年6月22日(月)~7月22日(水) ※7月22日(水) 郵送必着

- ・主催: 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
- ・協力: アクサ生命保険株式会社
- ・後援: 文部科学省
- ・プログラム・コーディネーター・講師: 及川 幸彦先生(東京大学)、上田和孝先生(新潟大学)
- ・研修協力: 認定特定非営利活動法人SEEDS Asia、気仙沼市教育委員会、気仙沼市立階上小学校、気仙沼市立階上中学校、宮城県多賀城高等学校(予定)